



香美史 探訪記

第24回 貴船神社と 吉祥寺廃寺 (土佐山田町楠目)

土佐山田町加茂・町田地区の氏神加茂神社と貴船神社は、もともと本殿や参道が物部川を挟んで一直線上に置かれていた。

物部川は古代から暴れ川で、下流が洪水や干害を受けないように祈願して、京都の賀茂神社と貴船神社を

両岸に祀り、別当寺として吉祥寺が開山されたと思われ、勧請鎮座の古代社会がしのばれる。両社は京都の水源部に祀られ、平安遷都以来、雨ごいや止雨の神社であったらしい。吉祥天女は、元々インドの海神で水の精だった。日本に伝わって、五穀豊穡の女神として信仰され、風雨順時を願った法要が営まれた。吉祥寺の本尊は毘沙門天で、平安時代の木像であることから、貴船神社と吉祥寺は、平安時代に勧進し祀られたと思われる。

『長宗我部地検帳』(1688年)には、「寺の敷地内には、田淵坊など12坊がある」と書かれ、かなり大きな寺であったと考えられる。吉祥寺は明治4年(1871年)廃仏毀釈で廃寺となっ



毘沙門堂

たものである。集落名の談議所は、鎌倉から室町時代の僧侶の学問所『談議所』が起源とも考えられる。

吉祥寺の什物(秘蔵の宝物)に釈迦涅槃図がある。嘉元3年(1305年)絵師都太夫法眼によるお釈迦様臨終の絵図で、弟子や民衆、動物や生物までも死を悼んで集まっている絹本着色仏図であるが、7百年余を経て傷みが激しい。

よさこい節で有名になったかんざし事件の僧純信が吉祥寺の住職であった時、嘉永元年(1848年)7月、この寺で働いていた弟松蔵が川で溺死して、吉祥寺の境内の墓地に埋葬されている。

(香美史談会)



皆さん、こんにちは。私は子ども頃から、母の影響で日本のJポップやテレビドラマに関心があり、どうして自分でも日本の文化を体験したいと思っていました。念願が叶い、2008年10月、高知工科大学大学院博士課程に留学できました。現在は、電子光研究室で光通信の研究をしています。今日は私の高校時代の思い出について書きたいと思います。

高校生活は楽しいときでした。一生懸命に自分の理想に近づこうと頑張っている時代でしょう。私は理想の大学に入ることを目指していました。それが一番重要なことだと思ったからです。もちろん、人と付き合うことも大事でした。落ち込んだ時に、立ち直れたのは友だちの助けがあったからです。印象に残っている一日があります。卒業を控えたある日、私がクラスで

私たちの子どもの頃は、母が柏もちをたくさん作ってくれ、山へ柏の葉を取りに行きました。少なかったらミヨウガの葉で巻いたりしてくれました。学校から帰ったらおやつに食べるのが楽しみでした。今はさくらもち等、何時でも食べられるお節句の喜びなんてありませんね。いも粉で作った黒いもちが懐かしく今でも見かけたら買います。主人の母はお料理上手で作ってくれて、親子孫、皆おいしく食べたことを思い出して今も感謝していますよ。おばあちゃんでした。

小学生の頃、こどもの日に、母が手作りのおまんじゅうや、しばもちを作ってくれ、手伝いであんこを歩いて買いに行ったりしたことをなつかしく思い出します。うれしくても急いで帰ってきたことでした。

長男出産時、両親がフラフを注文できると、大変喜びうれしそうでした。今でもその顔が思い出されます。

私が子どもの頃は、お母さんが必ずしばもち・赤飯を作ってくれたり、午前中は庭草を引かれました。午後はきれいな和服を着せてくださり、近所の3歳と1歳年上の友だちと遊ばせてくれました。今でもあの楽しかったことは忘れません。80年前になりましたよ。

市民のひろば

掲示板

◆東日本大震災チャリティイベント

【日時】5月22日(日) 10時~16時

【場所】山田小学校体育館

【内容】手作り品、陶器、引き出物、古着、野菜、雑貨等

【主催】宝町うららか卓球部、香美市ビーチボールパレー愛好会、他有志一同

※売り上げは、香美市からの義援金となります。

【問い合わせ先】門脇 53・3264

【問い合わせ先】三谷 誠郎 52・4832

まちの声

◆5月5日こどもの日の思い出(第11回かみかみクイズ応募から)

私たちの子どもの頃は、広い田の中のあちこちに、このぼりが泳いでいました。が、今はすっかり見なくなつて寂しいです。

私たちが子どもの頃は、母が柏もちをたくさん作ってくれ、山へ柏の葉を取りに行きました。少なかったらミヨウガの葉で巻いたりしてくれました。学校から帰ったらおやつに食べるのが楽しみでした。今はさくらもち等、何時でも食べられるお節句の喜びなんてありませんね。いも粉で作った黒いもちが懐かしく今でも見かけたら買います。主人の母はお料理上手で作ってくれて、親子孫、皆おいしく食べたことを思い出して今も感謝していますよ。おばあちゃんでした。

小学生の頃、こどもの日に、母が手作りのおまんじゅうや、しばもちを作ってくれ、手伝いであんこを歩いて買いに行ったりしたことをなつかしく思い出します。うれしくても急いで帰ってきたことでした。

長男出産時、両親がフラフを注文できると、大変喜びうれしそうでした。今でもその顔が思い出されます。

私が子どもの頃は、お母さんが必ずしばもち・赤飯を作ってくれたり、午前中は庭草を引かれました。午後はきれいな和服を着せてくださり、近所の3歳と1歳年上の友だちと遊ばせてくれました。今でもあの楽しかったことは忘れません。80年前になりましたよ。



作:山田高校マンガ部

ただいま留学中

梁静(リヤンジン) (中国・北京市出身)



「将来、自分のやりたいことを書こう」と描き出した。皆が黒板に人生の目標を書き、それについてスピーチしました。互いに大いに鼓舞され、思いをいっそう強くしました。その日は私のいい思い出です。

光陰矢のごとし、香美市に来て2年経ちました。研究中心の生活ですが、週末には時間を作って、電子ピアノを弾いたり田園風景を楽しんだり料理をしたりします。山田まつりと鳴子踊りが大好きです。さまざまな踊りはとても楽しく、かつ日本文化や伝統の反映が感じられ、高知の夏を満喫できました。

この2年、香美市の皆さんが親切にしてくれ、心からありがたく思っています。